



2021年8月5日

各位

会社名 株式会社 リボミック
代表者名 代表取締役社長 中村 義一
(コード番号：4591 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員財務経理部長 米林 渉司
TEL. 03-3440-3745

滲出型加齢黄斑変性治療薬 (RBM-007) の米国第2相 TOFU 試験 における患者組み入れ完了のお知らせ

当社100%子会社の RIBOMIC USA Inc. が米国で進めている RBM-007 第2相臨床試験 (対象疾患：滲出型加齢黄斑変性 (wet AMD)、略称名：TOFU 試験) につき、このたび、患者の組み入れが完了いたしましたので、お知らせいたします。

本試験は、wet AMD 患者を対象に、①RBM-007 単剤投与群 ②既存薬アイリーアとの併用投与群 ③アイリーアの単剤投与群の3群を設定し、RBM-007 の有効性及び安全性を比較評価する無作為化二重盲検試験です。

同社 CEO の Padma Bezwada は次のようにコメントしています。「COVID-19 の影響を受けつつも予定通りに TOFU 試験の患者組み入れを完了できたことは、当グループにとっての重要なマイルストーン達成であり、RBM-007 の開発における大きな前進を意味します。我々は、RBM-007 が wet AMD やその他の網膜疾患に対し、これまでにない新しい治療選択肢を提供する可能性をもつと信じています。試験に参加くださった患者の皆さん、医師、治験施設のチームに感謝します。最後の患者の主要評価項目の評価は約4か月後に実施され、データ解析ののち、速やかにトプラインデータをお知らせしたいと思えます。結果がポジティブな場合、第3相試験の設計に有益なデータセットとなります。」

TOFU 試験のトプラインデータの公表は、2022年第1四半期 (3月まで) を予定しております。

尚、本件による 2022年3月期業績への影響はございません。

以上

RBM-007について

線維芽細胞増殖因子2 (FGF2) の機能を阻害するアプタマーで、加齢黄斑変性における血管新生と瘢痕形成を同時に抑制する新規な薬理作用を有することが非臨床試験で示されています。特に加齢黄斑変性における瘢痕形成は、失明の一因と考えられていますが、既存薬には瘢痕化を直接抑制する作用は確認されておらず、RBM-007は新規の治療法を提供できる可能性があります。

本リリースに記載されている医療用医薬品 (開発品を含む) の情報は、当該製品を宣伝・広告するものではなく、投資家への情報開示を目的とするものであり、その製品化を保証するものではありません。